

南大東村立南大東小学校・中学校

基本情報

南大東村小中学校学校運営協議会

令和7年6月1日 設置

委員構成 10名

- ・ 区長会代表
- ・ 小中学校校長 ・ 小学校教務 ・ PTA会長
- ・ 南っ子ドリカムセンター長（未来塾・放課後教室）
- ・ その他地区代表（5名）

- ① 体育協会会長 ② 村女性団体代表 ③ 元学校評議委員3人
- ☆ 事務局（教育委員会社会教育担当）
- ☆ 相談役（教育長）

会議回数 年間平均6回程度

地域学校協働活動推進員数

地域コーディネーター 1名（0名）

夢を持って十五の島立ができる
魅力ある我が島の学校
地域参加型の学校運営
（コミュニティースクール（CS））

背景・取り組み概要

南大東村は遠隔離島にあり、島には高等学校が無いため、15歳で島立ちをしないとイケない。「かしこく・やさしく・たくましく・未来に向かう南っ子」の教育目標を地域・学校・行政が一体となり村是である「人材をもって資源となす」の体制づくりを目指す。その一環として、地域の人材を活用し、地域の自然・歴史・文化に関心を持たせる取り組みや、「自己肯定感」「困難を乗り越える力」の育成に取り組んでいく。

工夫・ポイント・特徴的な取り組み

◆ 学校運営協議会の開催

学校運営協議会を年に3回以上開催し、学校経営計画についての確認や、行事等への協力、学校や、地域課題に対する取り組みを行っている

◆ 地域学校協働活動

地域学校協働活動推進員を中心に地域の農家と連携した校外活動や、島を研究している研究者や大学生の調査発表を授業に取り組み、島の成り立ち、産業、文化、歴史などを学ぶ機会と児童生徒のSDGs発表ををする「ダイトウ学会」の開催。

地域企業や、行政・PTAと連携し、登校の見守り、挨拶運動の展開や、部活動派遣資金集め活動「チャリティグラウンドゴルフコンペ」の開催

◆ 南っ子ドリカムセンター（放課後教室・地域未来塾）の開催

「村学習支援センター」と小学1年～3年対象とした預かり保育「夢クラブ」を一体化して校内に移し、児童生徒全員を対象とした放課後こども教室「南っ子ドリカムセンター」の開設。放課後の時間を趣味活動・スポーツ活動を集団で行うことで家庭でのゲーム時間の削減、生活習慣の改善や、保護者の安心した就労を支える。

中学生は、受験対策として学習に取り組む

成果・効果・課題

学校運営協議会を設置し、学校・地域・行政で話し合う事で、学校での課題を地域も一緒に解決していく意識が高まった。島での伝統行事に学校がスムーズ参加することや、島の産業をより深く学ぶ場が出来た。学習支援員の配置や、地域人材を活用することで、担任教諭の負担軽減に繋がった。



↑ 小学（きび刈り）



↑ 小4（黒糖作り）



↑ 中学（製糖工場見学）



↑ 小学（音楽特別教室）



↑ 中学（チャリティGG大会）